

一 般 質 問 通 告 表

平成26年第4回始良市議会定例会（11月27日（木） 午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 和田 里志	1. (通称) イオンタウンと行政の関わりについて	<p>中心市街地活性化の核となるまちづくり、イオンタウンの建設計画については、当初計画より大幅に遅れ、これまでも多くの同僚議員が質問してきたが、市民に十分な説明がなされないまま、未だ工事着工すら行われていない。</p> <p>そこで以下について詳細に問う。</p> <p>(1) イオンタウン建設計画の現状と開業予定はどうなっているか。</p> <p>(2) 行政として、イオンタウンに要望していること、逆に要請されていることは、どのようなことか。またそれらはどのように生かされているか。</p> <p>(3) これまでに、イオンタウンと交わしている具体的契約や覚書の内容は、どのようなものか。</p> <p>(4) 開業までに行う予定とした始良市内の住民、商工業者への説明会の開催は、どうなっているか。</p>	市長
	2. 校区コミュニティ協議会の構築状況について	<p>市民が主体となった地域づくりを促進するため、混在する地域組織を小学校区毎に独自性を持った「校区コミュニティ協議会」の構築を推進し、市もあらゆる支援策の検討と、設立・運営に関して支援体制を整備するとしたが、その状況について問う。</p> <p>(1) これまで各地区コミュニティの現状は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 各地区の「校区コミュニティ協議会」設立準備は順調に行っているか。</p> <p>(3) コミュニティ拠点の整備や支援員の配置、補助金の制定など、平成27年度より一斉に設立、スタートで</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 都市計画マスタープランと用途地域の見直しについて</p>	<p>きるのか。</p> <p>(4)「校区コミュニティ協議会」運営補助金の算定はどのように行うか。</p> <p>(5) 26年度から始まった自治会活動費交付金や資源物収集に伴う還元金、行政事務委託料等との関連はどのようになるか。</p> <p>近年の経済社会の動向や都市計画を取り巻く状況は大きく変化しており、これらの変化に対応して将来の都市づくりを進めていくための方向性を明らかにする「始良市都市計画マスタープラン」が、昨年3月策定された。</p> <p>そこで、都市計画で定めることのできる地域地区の最も基本となる用途地域、土地の合理的利用を図り、市街地の環境の整備、都市機能の向上を目的として、建築物の建築を、用途や容積率等により規制する現行12種類の制度の見直しについて、その時期と考え方を問う。</p>	<p>市長</p>
<p>2. 湯川 逸郎</p>	<p>1. 市道の整備について</p>	<p>市道は、毎年計画的に舗装及び改良の整備が実施され、環境基盤の整備が進められていることは、喜ばしいことである。</p> <p>(1) 舗装率の状況及び改良率の実態について、全国平均及び県平均と対比して、本市の実態を詳細に問う。</p> <p>(2) 交通量の多い箇所等センターラインが薄く見づらい市道が多く見受けられる。市全域の実態調査を行っているのか。交通事故を未然に防ぐためにも年次的にライン引きを実施し、安全・安心なまちづくりを努めるべきと</p>	<p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 生活保護費の家賃手当の見直しについて</p> <p>3. 県立体育館誘致の交渉状況について</p> <p>4. 始良市本庁舎建設計画について</p>	<p>考えるがどうか。</p> <p>国において、生活保護者が保護基準の家賃手当より高い貸家に居住し、不正に高い家賃手当を支給されている実態等を踏まえ検討がなされている。</p> <p>(1) 本市における生活保護世帯で持ち家の世帯が何世帯あるか、家賃手当を支給されている世帯が何世帯あるか、その内訳で家賃手当金額毎に内容を問う。</p> <p>(2) 生活保護世帯で市営住宅に入居されている世帯が何世帯あるか。</p> <p>市営住宅の入居者で住宅使用料の滞納者は存在しないか、また、住宅使用料の滞納処理について合わせて問う。</p> <p>平成25年9月12日付けの新聞報道で、県下で最初に「県立体育館誘致を加治木町港町を候補地として県有地と民有地を含め5ヘクタールの開発を見込み」、県に要望書を提出されたが、その後、市の受け入れ対応策と交渉結果について詳細に問う。</p> <p>始良市が合併して、5年目になり、市民の声が「本庁舎建設計画」に移行している。</p> <p>加治木・始良・蒲生の各庁舎は老朽化し、耐震化も無く、増改築も不可能と考える。</p> <p>本庁舎建設について、いつ・どこに・どのような庁舎を計画するのか問う。</p> <p>また、加治木・蒲生の各支庁舎は老朽化が著しいが、2支庁舎の建設はど</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		のように考えているのか問う。	
3. 田口 幸一	<p>1. 市道仮屋園線の建設について</p> <p>2. 帖佐第一地区土地区画整理事業の完了について</p> <p>3. 空き家対策について</p> <p>4. 道徳教育について</p>	<p>(1) その後の進捗状況は、どのようになっているのか。</p> <p>(2) すでに議決された予算はどのようになっているのか。</p> <p>(3) 繰越明許は、どうなっているのか。</p> <p>(4) 地権者は何人で、交渉状況は、どのようになっているのか。</p> <p>(1) すでに普通財産になっているが、売れ残っている保留地は何筆でおよそ金額にするといくらか。</p> <p>(2) 現在の一坪当たりの金額はいくらか。</p> <p>(3) 一区画の面積はおよそいくらか。</p> <p>(4) 平成27年4月1日に松原なぎさ小学校が開校するが、児童数の増加を、どのように推計するか。</p> <p>(1) 平成26年11月現在の始良市の空き家状況は、どのようになっているのか。</p> <p>(2) 空き家を解消するためにどのような施策を考えているか。</p> <p>(3) なぜ空き家が増加したと考えるか。</p> <p>(1) 河川敷や空き地に、ペットボトルや空きかん等が散乱している。日本一きれいな始良市を目指すとなっているが、どのような教育がなされているのか。</p> <p>(2) 市長は、どのような施策を考え</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育委員長</p> <p>市長</p> <p>市長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		るか。	
4. 本村 良治	<p>1. 子育て支援について</p> <p>2. フッ化物洗口について</p>	<p>来年4月から子ども・子育て支援制度が大きく変わる。 9月議会で制度的に変わることは部分的には理解できた。今回は個々の内容について問う。</p> <p>(1) 始良市が今回の新しい制度変更の中で最も力を入れて推進するのは何か。</p> <p>(2) 子ども・子育て支援法と認定子ども園法は何を目的としているか。</p> <p>(3) 保育指針の成立過程とその背景にはどのようなものがあるか。</p> <p>(4) 保育について定義はどのようになっているか。</p> <p>(5) 保育所の役割はどのように位置づけられているか。</p> <p>(6) 児童福祉施設最低基準はどうなっているか説明せよ。</p> <p>(7) 待機児童の解消は今後どのようになっていくか。</p> <p>虫歯予防に有効だという利点だけが強調されて、フッ化物洗口の取組みが県下で進められようとしている。負の側面は、ほとんど話題になっていない。両面を保護者へ説明して、保護者の判断に任せるのが良いと思う。私は学生時代に科学の実験でフッ素化合物を使ったことがあった。実験室でびっくりしたのは、硝子も溶かすほどの劇薬だったことを鮮明に覚えている。もちろん洗口に使用されるものは化合物の種類と濃度に違いはあるだろう。とにかく取扱いは慎重にしたほうがよいとい</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 教職員の多忙化解消について</p>	<p>うのが私の経験上の感想である。</p> <p>(1) フッ化物洗口について、どのように考えているか。</p> <p>(2) 洗口に使用するフッ化物の正式な名称は何か。</p> <p>(3) このフッ化物はどのような性質をもっているか。また、他にはどのような用途に用いられるか。</p> <p>(4) フッ化物の保管・管理はだれが責任を持つか。</p> <p>(5) 保管場所はどこか。</p> <p>(6) 誤飲した場合、その後の処置は誰がどうするか。</p> <p>9月議会で多忙化解消の取組みは学校でなされていることはわかった。今回は取組みの具体的内容と実効性を問う。</p> <p>(1) 「労働時間記録カード」導入の際に、その目的とその後の活用策についての説明はしたか。</p> <p>(2) 答弁で職員会の回数を減らすという内容があったが、実効性について具体的な説明を求めろ。</p> <p>(3) 「仕事上の資料の共有化を図り」とあるがどのような方法で行うのか具体的に説明せよ。</p> <p>(4) 教育委員会の取組みとして、市の行事の精選や電子メールの活用について具体的に説明せよ。</p> <p>(5) 校内安全衛生委員会の開催回数と、具体的な協議内容を例示せよ。</p> <p>(6) 県下の自治体において総括安全委員会の設置状況はどうなっているか。</p> <p>(7) 始良市でも教育委員会に総括安全委員会を設置してはどうか</p>	<p>教育委員長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>(8) 今年で第65回目を迎えた全国労働安全週間において何も取り組みをしなかったのはどのような理由か。</p>	
5. 竹下日出志	1. 健康増進とがん対策について	<p>がんは、昭和56年より我が国の死因の第1位であり、平成24年には年間約36万人が亡くなっており、今後も人口の高齢化に伴い死亡者数の増加が見込まれている。がんによる死亡者数を減少させるためには、早期発見・早期治療が重要であることから、がん対策基本法では、がん検診の受診率向上、がん検診の普及啓発その他必要な施策が求められている。</p> <p>(1) 胃がんは、罹患数・死亡数が多く、近年ヘリコバクター・ピロリ菌の感染が主な原因とわかり、胃がんの撲滅も夢ではなくなったと言われている。</p> <p>本市の胃がん検診に、ピロリ菌検査を実施する考えはないか。</p> <p>(2) がん検診の受診率向上のため、かかりつけ医など医療機関からがん検診の受診を促す考えはないか。</p> <p>(3) 多くの市民が集まる場所を活用して、がん検診の普及啓発のイベントを実施する考えはないか。</p> <p>(4) 学校における健康教育の一環として、児童・生徒ががんについて学ぶ機会を設け、成人してもがんの予防につながる健康的な生活を送ることができるよう、がんに関する正しい知識の普及を推進する考えはないか。</p> <p>(5) 健康づくりに取り組み、検診受けて健康チェック。健康教室やイベントに参加していきいきリフレッシュ「アイラリー」を推進する考えはない</p>	市長 教育委員長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	2. 食品ロス削減運動について	<p>か。</p> <p>私たちの周りは一見飽食の時代に見えるが、その裏では大量の食品ロスという大きな課題が生じている。</p> <p>日本では年間500万トンから800万トンの食品ロスが出ており、その約半分の200万トンから400万トンが家庭から排出されている。</p> <p>長野県松本市では、食育の推進、生ゴミの削減の観点から、“もったいない”をキーワードとして、あらゆる世代、家庭や外食時など様々な場面で食べ残しを減らす取組みを進めている。</p> <p>(1) 飲食店から出る食品ロスの約6割は、お客さんの食べ残しである。外食では、食べられる量を注文する。また、会食や宴会などでは乾杯後の30分間とお開きの10分間は席を立たずに料理を楽しむことにより、食べ残しを減らす「残さず食べよう！30・10運動」を進めている。本市でもこの運動を推進する考えはないか。</p> <p>(2) 松本市の調査では、手付かずの未利用食品や野菜の可食部等が多く廃棄されていた。そこで「残さず食べよう！30・10運動」の家庭版として毎月10日はもったいないクッキングデー、今まで捨てていた野菜の茎や皮などの可食部を使い、子どもといっしょに料理をする。毎月30日は冷蔵庫の賞味期限・消費期限の近いものや野菜・肉などの傷みやすいものを積極的に料理し、家庭で取組む日として周知啓発を行っている。本市でもこの運動を推進する考えはないか。</p> <p>(3) 市内の保育園・幼稚園児を対象</p>	市長 教育委員長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>に、食べ物を作ってくれた人への感謝や資源の大切さを忘れない心を育み、食べ残しをなくして食品ロスを減らすため参加型の環境教育を行っている。また、家庭にはパンフレットを通して啓発運動を行っている。本市でも園児対象の環境教育を実施する考えはないか。</p> <p>(4) 始良市生活学校連絡会・始良市衛生協会では、「食品ロス」の多さに気付き、一人でも多くの市民が削減に取り組む、「捨てず・残さず・使い切る」を実践することは、物を大切にすること、さらに入口からのゴミ減量につながる。そこで、食品ロス削減ロゴマーク・ろすのんと始良市のくすみんなが呼びかける、冷蔵庫に貼れるステッカーを作成し、市内全世帯に普及させ食品ロス削減に取り組む考えはないか。</p>	